

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	文章表現（Sentence Expression）		
ナンバリングコード	B10507	大分類 / 難易度 科目分野	教養教育科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A034354	クラス名	工学部
担当教員名	淵上 千香子、赤星 哲也、濱永 康仁、東寺 祐亮		
履修上の注意、履修条件	「基礎学力講座(国語)」を履修していることが望ましい。国語辞典(電子辞書も可)を携帯するようにしてください欠席や遅刻は厳禁です。時間内に課題が終わらなかった場合は必ず、翌週までに課題を仕上げ、再提出しましょう。なお、講義時間以外には新聞・雑誌・本を読み、読解力、語彙力をつけるよう心掛けてくださいまた、思考力、判断力、表現力をつけるため、日ごろから文章を書く癖をつけましょう。この講義の全ての課題はEXCELで作成し、課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。		
教科書	NBU出版 文章表現基礎講座 工学部テキスト 最新版 ＊テキストは毎年更新されていますので必ず最新版を購入するようにしてください		
参考文献及び指定図書	文章表現の基礎技法、文章表現400字からのレッスン、理科系の作文技術、理科系のための英文作法－文章をなめらかにつなぐ四つの法則 ほか(その他欄参照)		
関連科目	社会参画入門 社会参画実習1 社会参画応用 社会参画実習2 基礎学力講座・国語情報リテラシー1・2 英語1・2 コミュニケーション演習 現代社会要論 人間力概論		

○基本情報		
授業の目的	変化の激しく多様化する現代社会ではこれまで以上に「書く」力が求められており、大学における日本語教育の一つに文章表現力教育があります。本講義はコミュニケーション能力や社会人基礎力を主として養う科目群にあたり、文章作成のスキルを身につけることを主目的としています。そのため、本授業では、高校までに培った国語の基礎力(語彙力・読解力)をもとに、指定された時間内に、指定文字数で読み手に伝わる文章を書けるようになることを最終目標とします。図表を読み取りながら、論理的な文章作成を短い文章からはじめて、繰り返し書く基礎的な練習を行い、最終的に800字程度の文章を作成する能力を身につけてもらいます。また、読みやすい文章とは何か考え、理解・判断し、推敲する能力を身につけてもらいます。	
授業の概要	本講義では、短い文章(200字)からやや長い文章(800字)を書く練習を段階的に行っていきます。その際に、読み手に伝わる文章が書けるようにピアレビューを取り入れています。また、継続的な自己学習が続けられるよう、自らの文章表現力を評価するため学生同士でピアレビューを行い、評価シートを作成します。教員からの個別評価表(個表)を翌週の講義時に返却し、自らの文章が読み手にどのように評価されるか理解し、次の文章作成に反映できるように意見文の作成演習をしてもらいます。なお、15週目までに学習したことを基に、新たなテーマについて第16週目に期末試験(600字程度の文章作成)を行います。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「反転授業」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	人間力の基盤となる主体性を持って事前ワーク、講義課題に取り組むことができる。返却された評価をもとに個別指導を受け再取り組みを行える。期日(時)までの提出ができる。読み手に伝わる文章表現を心がけることができる。	10%	25%	
【ディプロマ・ポリシー②】	時代の変化に適応でき、産業界や社会・地域の発展に貢献するための素養となる、指定文字数も含めた文章の基本的な書き方が理解できる。また、文章やデータの読解や要約ができる。不明な場合は調べることができる。	10%	25%	
【ディプロマ・ポリシー③】	産業界や社会・地域のニーズに応じた教養と倫理観にもとづき、典拠を明確にした正確でわかりやすい文章を作成できる。高度専門職に必要な知識、技能として文章を繰り返し推敲し、論理的な文章を作成することができる。	5%	25%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 ・レポートは、授業時に指示される注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説や実習問題などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
事前ワークに必ず取り組み、講義中には「読み手を意識した意見文にするために、どのように文章を工夫したらいいか」質問をし、指導を受けましょう。また、毎回返却される個別評価シートを確認し、チェックされている箇所についても指導を受け、再提出するようにしましょう。 なお、資料の読み取り、文章作成が苦手な人や上達したい人は、指導教員がいる時間帯を確認し、教育推進センターで個別指導を受けるようにしてください。個別指導を受けることで資料読み取りおよび文章作成能力が上達します。ぜひ、活用しましょう。 自主学習支援について 授業内容をより深く学習するためにeラーニングシステムを準備しています。パソコンやスマートフォンを利用して自主学習が出来ますので、積極的に活用してください。アクセス方法や詳しい使い方は授業中に説明します。 参考文献及び指定図書 追記 語彙力強化 参考図書 これでカンペキ！マンガでおぼえる四字熟語、ことわざ・慣用句、敬語、問題な日本語その3・その4 続弾！問題な日本語―何が気になる？どうして気になる？、日本語検定必勝単語帳 入門編、発展編

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	文章表現 (Sentence Expression)	授業コード	A034354
	担当教員	瀧上 千香子、赤星 哲也、濱永 康仁、東寺 祐亮		
学修内容				
1. オリエンテーション				
講義の進め方、出席の取り方、遅刻・早退の取り扱い、評価の方法などについて説明後、文章表現に関する意識調査アンケート(事前アンケート)および資料を読み取り、200字の要約文を 作成してもらいます。また、テーマ1に関する意識調査を行います。				
	予習	教科書を読み、講義内容について確認し、書き言葉と話し言葉の違いについて調べる。		(約2.0h)
	復習	講義中に作成した200字の要約文の推敲を行い再提出を行います。		(約2.0h)
2. 短い文章の文章作成の練習1				
テーマ1「各年度ごとにテーマを変更(オリエンテーション時にその年度のテーマを通達)します」読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、図表の読み取り方および読み取った資料のまとめ方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個別評価表(個評)を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
3. 短い文章の文章作成の練習2				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、意見文と感想文の違いについて調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
4. 短い文章の文章作成の練習3				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、PREP型の意見文の書き方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
5. 短い文章の文章作成の練習4				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、箇条書きの仕方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
6. 短い文章の文章作成の練習5				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、文章の要約の仕方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
7. 短い文章の文章作成の練習6				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、書き言葉と話し言葉の違いについて調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
8. 短い文章の文章作成の練習3(400字意見文の完成)				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って、400字のPREP型意見文を完成します。完成した意見文を可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。 また、テーマ2に関する意識調査を行います。PREP型の400字意見文を時間内で完成できるようになることが目標です。				
	予習	事前ワークに取り組み、接続詞の使い方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	文章表現 (Sentence Expression)	授業コード	A034354
	担当教員	瀧上 千香子、赤星 哲也、濱永 康仁、東寺 祐亮		
学修内容				
9. 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習1				
テーマ2「各年度ごとにテーマを変更(オリエンテーション時にその年度のテーマを通達)します」読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、破急型の意見文の書き方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
10. 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習2				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	箇条書きの仕方や意見文の形について調査し、読みやすい文章とはどういうものか考えてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
11. 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習3				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、句読点の使い方について調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
12. 800字程度のやや長い文章の文章作成の練習4				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組み、どのようなときに常体文が使われているか調べてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
13. 1000字程度のやや長い文章の文章作成の練習5				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	事前ワークに取り組みましよう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
14. 1100字程度のやや長い文章の文章作成の練習6				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って文章を書いてもらいます。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。課題および評価シートはLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。				
	予習	返却された個別評価表(個表)を確認し、これまでのワークを再度確認しながら下書きをしてみましょう		(約2.0h)
	復習	返却された個評を確認し、チェックされた項目について指導を受け再提出しましょう。		(約2.0h)
15. 1200字程度のやや長い文章の文章作成の練習7(1200字意見文の完成)およびまとめ				
前週の内容について振り返りを行ったのち、読み取った資料内容に関し、ワークシートに従って、1200字の意見文を完成します。可能であれば学生同士でピアレビューを行い、わかりにくい点、わかりやすい点を互いにコメントを行い、文章の推敲を行います。序破急型の800字意見文を時間内で完成できるようになることが目標です。課題はLMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。なお、第16週の期末試験について説明し、文章表現に関する事後意識調査アンケート(事後アンケート)を行います。				
	予習	事前ワークに取り組み、下書きを推敲してみましょう		(約2.0h)
	復習	第7回、第15回の完成した意見文を再度推敲し、期末試験前日までに再提出しましょう。		(約2.0h)
16. 期末試験				
文章表現基礎講座の総括として70分以内に1-3種類の資料を読み、テーマに沿って序破急型600字程度の意見文を課します。期末試験課題はワードで作成後、LMSまたはGoogleClassroomの課題提出に提出します。時間内に完成させた意見文を評価対象とします。				
	予習			
	復習			